



平成26年4月25日

各位

会社名 日本山村硝子株式会社
代表者名 代表取締役社長 山村 幸治
(コード番号5210 東証第一部)
問合せ先 経理部長 佐貫 正義
(TEL 06-4300-6000)

特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成26年3月期において、下記の通り特別損失を計上することといたしましたので、お知らせいたします。また、平成25年11月6日に公表しました業績予想について、下記の通り修正しましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

(1) 減損損失の計上について

当社プラスチックカンパニーは、原料費や電力料金の高止まりに加え、PETボトルにおけるお客さまの内製化の影響を受け、収益が急速に悪化しております。

当社としても様々な収益改善策を実施してまいりますが、それらを織り込んでも事業継続による固定資産の使用価値が簿価を上回ることは困難と判断し、その差額2,741百万円を減損損失として計上いたしました。

(2) 大阪工場閉鎖に伴う臨時損失追加計上について

当社は、第3四半期連結会計期間において、ガラスびんカンパニー大阪工場の閉鎖に伴う臨時損失を事業構造改善費用として2,458百万円計上しておりますが、改めて資産の整理費用の見積りの見直し等を行い、追加で401百万円計上いたしました。その結果、通期での事業構造改善費用計上額は2,859百万円となりました。

2. 業績予想の修正

平成26年3月期通期連結業績予想の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	71,000	△500	100	600	5.71
今回修正予想 (B)	71,800	△800	△600	△3,300	△31.43
増減額 (B-A)	800	△300	△700	△3,900	—
増減率 (%)	1.1	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	70,539	114	516	209	1.99

平成26年3月期通期個別業績予想及び前期実績値との差異
(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前期実績 (A)	52,420	△283	△349
当期予想 (B)	50,400	△400	△2,700
増減額 (B－A)	△2,020	△117	△2,351
増減率 (%)	△3.9	—	—

修正の理由

営業利益は昨年7月に買収した中国子会社の秦皇島方圓包装玻璃有限公司の業績不振によるものであり、経常利益はそれに加え、持分法適用会社において回収が見込まれない債権に対し引当計上を行ったことによるものです。

これらに前述の特別損失を計上した結果、誠に遺憾ながら、営業利益・経常利益・当期純利益のいずれもが前回予想を下回る見込みとなりました。

注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上